

広報 たかもり

発行 阿蘇郡高森町役場 TEL (高森局09676) ②0611 [代表]

人口

— 6月30日現在 —

9,806人 男... 4,769人 女... 5,037人
 世帯数..... 2,626
 転入 41 出生 8
 転出 28 死亡 10



宵やみの高森峠

南阿蘇登山道路が開通。高千穂峽への観光ルートに当たる高森峠は往来するマイカー、貸切りバスがふえ、宵やみに行きかう車のライトが「光の供宴」を繰りひろげています。赤のテールランプ、ヘッドライトの白光、光の帯に照らされてくっきり浮き出る木立ちのシルエット。99曲がりキャンパスとする大自然の光の芸術。宵やみのなかに高岳、根子岳がボンヤリとかすんでいます。

第204号 昭和51年

8月1日

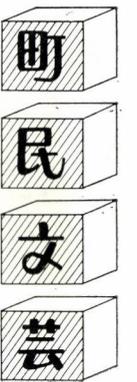
おもな内容

- 南阿蘇登山道路が開通.....(2)
- 町民センター建設が本決まり.....(3)
- 歯科診療所お目見え.....(4)
- 高森阿蘇神社の神楽が復活.....(5)
- 草部診療所の現状をみる.....(8)
- 高森の歴史散歩・郷土の博物誌.....(9)
- みんなの広場・学校短信.....(11)

9月1日	29日	22日	15日	8日
横町② 0075	小林 0378	白川 0378	寺崎 0309	旭通② 0216
			東 0646	上町② 0646
			馬 0646	馬原 0646
			旭通② 0216	平田 0216

昭和51年8月1日

俳句



七月と言へど宵には炉の恋し
 思ひ切り炬燵をのけて又寒く
 木苺を手のひらに乗せ味を見し
 霊場の標高問ふや閑古鳥
 下刈は雨降りてよし鎌切れて
 新築のブーム漸く梅雨も明け
 診断を待つ間の不安梅雨曇り
 子の飾る七夕様に筆を添え
 浴衣着て小学校の検診に
 捨て苗の梅雨に色よく育ちをり
 朝霧に行僧見えて経涼し
 草の蔓湯殿に入りて急に伸び
 緑蔭にしばし疲れをとり戻し
 垂れ下る毛虫に体細めゆく
 水無月に異常の冷えの稲にまで
 読み倦かぬ書に五月雨のひと日かな
 梅雨上る繋げる犬の大欠呻
 けんらの夏花にして句碑のもと
 入院す七夕となり早や三日

肥後狂句

汐どき、花道あけて呉るゝ友
 打算的、義理人情は切り捨つる
 汐どき、声高うなる叩き売り
 不届者ンお灸据えさす自然保護
 打算的、名譽職どま欲の無ア



熊谷 つ子
 熊谷こう女
 熊谷起代女
 野尻さだむ
 藤井秋雪女
 頼井てる女
 野尻いくよ
 本田 訓子
 福田 宮女
 草村 鶴代
 甲斐 菊江
 野尻 誓道
 熊谷 紫雲
 馬原その女
 草村あつ代
 熊谷あさ子
 馬原 岳人
 原田 健生
 瀬井 ほの

岡本 琴司
 林田 一声
 浦塚 南天

おめでた おくやみ

出生	出生	出生	出生	出生
(住所)	(保護者)	(出生児)	(性別)	(生年月日)
昭和 池邊 幸雄 寿美 女 51.6.8	旭通 松村 廣美 直道 男 51.6.18	森 岩下 卓夫 里美 女 51.6.21	昭和 岩本 孝雄 美穂 女 51.6.23	天神 片山 龍助 良介 男 51.6.28
矢津田 伊藤 忠志 博樹 男 51.6.22	草部 大村 敬止 紀久美 女 51.6.23	菅山 甲斐 義雄 順子 女 51.7.4	尾下 田上 勝 龍子 女 51.6.16	尾津 古澤 一三 龍司 男 51.6.30
				留 瀬井 幸夫 晴美 女 51.7.4

死亡	死亡	死亡	死亡	死亡
(住所)	(遺族)	(続柄)	(死亡者)	(年齢)
昭和 二子石荒義 妻 二子石ユキエ 70 51.6.15	西中原 檜木野ミナ子 夫 檜木野徳満 54 51.6.15	横町 平松 シナ 夫 平松 孝 69 51.6.16	村山 後藤 一人 母 後藤ヨシエ 88 51.6.28	洗川 三森 幸喜 父 三森友四郎 76 51.7.1
昭和 後藤 幸光 妻 後藤 ミエ 54 51.7.3	天和 藤島ムツオ 夫 藤島 アキ 67 51.7.7	村山 本田 正賢 母 本田フイエ 80 51.7.11	下野 工藤 ハルエ 夫 工藤 定兼 68 51.6.25	草部 甲斐 孝子 祖父 甲斐 夜久 60 51.7.4
村山 甲斐 ヨシエ 夫 甲斐 重加 79 51.7.12	村山 古庄フジエ 夫 古庄 長男 27 51.6.24	旭通 伊藤 キミエ 妻 伊藤 順喜 28 51.7.12		

寄付

どぎつさが、素顔死なせてしまうとする
 お安い御用、どうせ遊休施設です
 打算的、まだ良うならん後遺症
 お安い御用、あゝたと同じ帰り道
 汐どき、仲直りする選挙前
 ヤメメ曰く、墓撫ぜくって泣いて来た
 どぎつさが、とてもあんなじや真似きらん

浦塚 南天
 田上黙公子
 馬原 馬笑
 林 不忘

▽高森村山の古庄フジエさんから (長男、貢さん・27歳死去)
 ▽高森村山の三森幸喜さんから (父、友四郎さん・76歳死去)
 ▽高森天神の林ヌイさんから (伯母、アキさん・69歳死去)
 ▽高森昭和の二子石荒義さんから (妻、ユキエさん・70歳死去)
 ▽高森横町の後藤一人さんから (母、ヨシエさん・88歳死去)
 ▽高森村山の古庄フジエさんから (養父、彦喜さん・79歳死去)
 ▽上色見の後藤幸光さんから (妻、ミエさん・54歳死去)
 ▽高森村山の本田正賢さんから (母、フイエさん・80歳死去)
 ▽高森昭和の藤島ムツオさんから (夫、與さん・67歳死去)
 ▽高森旭通の伊東キミエさんから (二男、順喜さん・28歳死去)
 ▽下切の工藤徳さんから (父、定義さん・68歳死去)
 ▽高森上町の馬原敬二さんから (交通事故と犯罪をなくす運動推進大会看護の謝礼金を)
 ▽菊池市の川口伊喜雄さんから (精薄施設高森寮の起工を祝して)
 ▽尾下の古澤好只さんから (父、元氏さんの胸像建立で)
 ▽下切の工藤徳さんから香典返しとして、老人クラブ明寿会へ

△以上町社協分

南阿蘇登山道路が開通



華やかな開通記念パレード

南阿蘇三万住民待望の「阿蘇登山有料道路吉田線」が着工以来二年九か月ぶりにこのほど完成。七月一日午前十時から白水村吉田の起点近くで、関係者約五百人が出席して、盛大な落成祝賀式が行われました。

この南阿蘇登山道路の完成で、阿蘇五岳に既設の防中、湯の谷線を合わせ三本の登山ルートが実現したわけで、とりわけ裏阿蘇といわれ、阿蘇谷にすべての面で遅れをとっていた南郷谷は、いまや観光開発、経済浮揚の「導火線」を引き入れた新時代を迎えることになりました。

南阿蘇はこのほか国鉄高森—高千穂線、国民休暇村、久木野の老人天国建設など、大型プロジェクトが目白押しですが、数年後に面目一新する南郷谷に果たす新登山道の役割は大きいものが期待されます。

落成式当日は雨空でしたが、正午近くには天気も回復、阿蘇五岳の雄姿や南郷谷の素朴な景観が祝賀ムードを盛り上げました。

落成式に先立ち、午前十時から同式場で沢田県知事ら関係者を始め、建設省、環境庁、県選出国会議員、県議会議員、関係町村

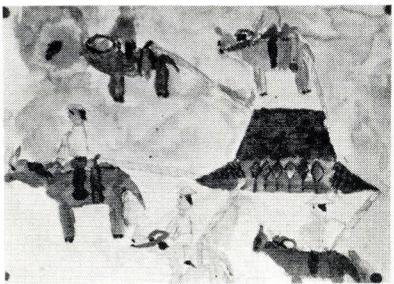
長、議会関係者、それに地権者、工事関係者らが列席して神事があつたあと、落成祝賀式に移り、沢田県知事の式辞のあと、各方面からの祝辞がありました。正午きっかり、紅白のテープに関係者代表十二人がハサミを入れ、南郷六か町村の女子職員が花束を贈呈、このあと参列者の車約二百台が新装なった有料道路を阿蘇山上まで、華やかなパレードを繰りひろげました。

南阿蘇登山道路は、観光開発に立ち遅くれた南郷谷六か町村(高森、蘇陽、白水、久木野、長陽、西原)が、南阿蘇総合開発促進協議会(会長、岩下高森町長)を四十三年に発足させ、県に建設を強く要望、これを受けた県は環境庁の認可を受け、四十八年十月から工事に入っていました。

このため、当初予算も三十一億円だったのが、結局五十四億六千万円を要しました。最大傾斜角は九・六割。トンネル一、橋十二カ所。通行料金は片道で小型、普通乗用車、マイクロー、貸し切りバスいずれも四百円。路線バス六百円、小型トラック二百五十円、大型ト

全長13キロ 高森—山上間を短縮 経済浮揚の起動力

みんなの広場



「ガリバー」

尾下小3年 甲斐昇二

ナイトハイクに参加して

高尾野 二子石 三治 (20)

近年、車の普及によって、日ごと歩くことの重要性を忘れかけて

いた私は、立野—熊本間のナイトハイクは意義深いものがありました。友だちの誘いでなんとなく参加した私ですが、三十三キロもの距離を歩き終えたときは、満足感と疲労感でいっぱいでした。

一歩一歩、ゴール目指して歩いた四時間三十分余り、私の脳裏にいろんなことが浮んできました。

「毎日の苦しみもこうしたものか。いつもなら、いっぱい飲んで、ぐっすり寝込んでいるころなのに」。

阿蘇の夜は寒く、立野を夜中の十一時に出発したものの、時間はいっこうにたちません。それに車に頼りきっている体ですから、少しの運動で腹は減り、どこを歩いているのかわからなくなる始末で

す。ところどころに見える明かりを見当に歩きました。横を走る車がうらやましく、孤独とはつらく、寂しいことも身をもって知りました。

しかし、いまではこの苦しかったナイトハイクが、どうしてか楽しい思い出として心によみがえります。皆さんも歩くことの大切さを考えてみてはどうでしょうか。

替え歌

高森オハラ節

昭和 杉田 定 (27)

- 一、花は峠よ菜種は畑よ 燃えて上るはオハラハ—
- 阿蘇の山 阿蘇の御神火貴女と私し 燃える心をオハラハ—
- 一すじに 一、東しや高千穂西には天草 阿蘇の高森オハラハ—
- こちよさ
- 一、昔しや中坂泣き泣き越えた 今じや峠をオハラハ—
- ねて通る
- 一、根子や東をドライブすれば 祖母や九重をオハラハ—
- 見て通る
- 一、酒はレイザン火の国女 二つそろえば
- オハラハ—よかきげん

学校短信

【野尻小】▼七月十五日に親子スポーツ大会を開いたのをはじめ、七月二十四—二十五日には学校とPTAによるキャンプを倉敷原で催しました。また七月二十六日は、熊大生のへき地慰問を受けました。

【河原小】▼熊本市博物館主催の「サマースクール」が、八月三日から六日にかけて河原小・中で開かれます。本校からは五年と六年生が参加の予定。

【河原中】▼七月十八日から二十一日にかけて大矢野の白濁海水浴場で臨海学校を開きました。

【草南小】▼八月二十二日の日曜日は、PTA主催で親子ソフトボールを行います。部落対抗ですからたくさん声援をお願いします。

【色見小】▼「美化運動に役立つてください」と、このほど山鳥の岩下徳雄さん(五〇)から移植ゴテ七十一本とベチニヤ、ホクシヤなど多数の花苗をいただきました。四月に



町営プールを利用して行きました。しかし距離が遠いため行き帰りに時間をとられ、交通上の問題もあったことから、育友会でプール改築の話を持ち上り、二十五日、五コースのプールが完成しました。工費は二百十九万円。写真完成したプール

くらのやみの中を歩く若者たち

お知らせ



危険道路の情 報は建設課へ

道路は私たちにあって大切な動脈です。県では交通安全の確保を図るため、道路パトロールの強化、路線職員による巡回補修、あるいは道路情報モニターを配置するなどいろいろな方策をとっています。が、万一、次のような事態が発生、もしくは発見された場合は、すぐ建設課にお知らせください。

- 一、落石や崩土があり、交通不能あるいは危険が予想されるとき
- 一、道路上に穴などができ危険が予想されるとき
- 一、道路上に転落する恐れのある浮石などを発見されたとき
- 一、道路上に物が放置され危険が予想されるとき

△一の宮土木事務所▽

高森平和塔の 霊石を受付中

村山のラダ山公園に建設中の高森平和塔は、皆様の温かい浄財で順調に工事が進められていきます。これからはドームに階段を取

りつけるなど、仕上げ作業に入るわけで、十月早々には落慶式があげられる予定です。

ところで、高森平和塔建立奉賛会では、先祖の霊を慰めるため、塔の中に入れる霊石を受け付けています。ご希望の方はタマゴ大の川石に、死亡者の名前を書いて、八月十日まで商工観光課へ届けてください。

電話架設の申 込みはお早く

日ごろ電報電話をご利用いただき、まことにありがとうございます。また電話の架設につきまして、皆様いろいろなご協力いただき感謝申し上げます。

さて、今年度も順次工事を進めて、加入電話の取り付けを行っておりますが、現在、電話を取り付けたいが、まだ申し込んでいない方がいらっしやうと思います。このような方は一日も早く、電話局の窓口へおいでいただき、申し込みの手続きをすませてください。局では申し込まれて、すぐご要望に答えることができませんから

皆様方の需要を把握し、設備計画などを考えて行きたいと思っております。どうぞよろしく願います。

△高森電報電話局▽

「愛の献血」ステ ッカー图案募集

ツカー图案募集

輸血用血液の需要は年々増加の傾向にあります。そこで日赤県支部では献血制度普及推進のため、「愛の献血」ステッカー图案を募

草部灰原

甲斐富美子さん(20)

【趣味】ドライブ、読書



△推せん者▽
草部社倉 後藤サカエ

お嫁さんにいいな

集めています。

【課題】「愛の献血」ステッカー图案(献血に関する图案)

【出品方法】①用紙の規格はタテ二十センチ、ヨコ二十五センチの両用紙(ケント紙)とする②图案の大きさは、直経十センチの円形とし、色数は赤色を含めて三色以内とする③图案には次の事項を必ず入れること

▽赤十字のマーク▽「熊本県、日本赤十字社熊本県支部」の文字▽「愛の献血」または「あなたの献血、命の綱」の文字④作品の裏に作者の住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号を明記⑤応募は一人一点⑥未発表のものに限る。

国民休暇村で 従業員を募集

南阿蘇国民休暇村では次のとおり従業員を募集しています。希望の方は履歴書、身上書、半身脱帽の手札型写真を添え、来る八月二十日までに町商工観光課へ申し込んでください。

【職種】▼営業係 十八歳～二十二歳男性、十八歳～二十四歳女性▼経理係 十八歳～二十二歳男性、十八歳～二十四歳女性▼応接係 十八歳～二十四歳女性▼用務係 十八歳～二十四歳女性▼管理係 二級ボイラー技術士以上の免許をもつ十八歳～三十歳男性▼厨房係 十八歳～三十五歳女性▼調理係 十八歳～三十歳男性▼客室係 十八歳～三十五歳までの女性

【給与】 休暇村給与規定による。昇給年一回、賞与年二回

【勤務時間】 平均八時間交替制

※ パート、アルバイトは別

中高生対象に 税の作文募

阿蘇税務署では中学生、高校生のみならずから税の作文を募集しています。税について日ごろ考えていることや意見など、税に関するものであればなんでも結構です。ふるって応募してください。

【応募資格】 中学生、高校生【テーマ】 税に関するものならなんでも結構です。

【字数】 中学生は二千字以内。高校生は三千字以内。末尾に住所、氏名、性別、学校名、学年、学校の所在地を書いてください。

【締め切り】 中学生は十月十八日(土)、高校生は十月六日(月)

【表彰】 優秀作品には国税庁長官賞、国税局長賞または税務署長賞と記念品を贈呈します。

宮崎交通が「下木 郷」バス停を新設

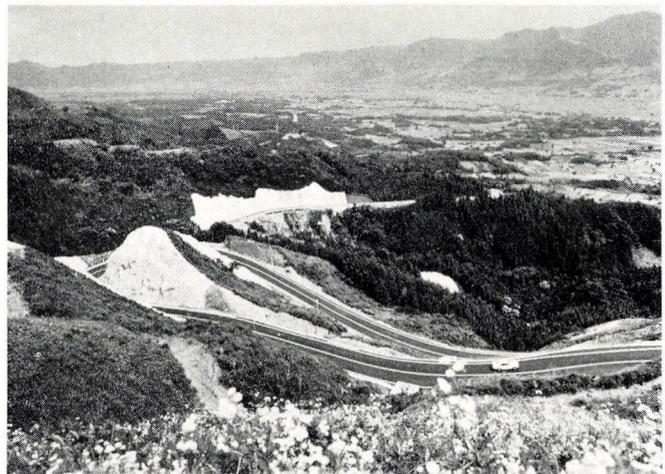
宮崎交通のバス路線(高森―高千穂間)に、このほど「下木郷停留所」が新設されました。

この「下木郷停留所」は、「木郷停留所」と「釣橋停留所」の間、本郷坂の大曲がりになってきたものです。四月から十一月までの期間に普通バスだけが止まります。

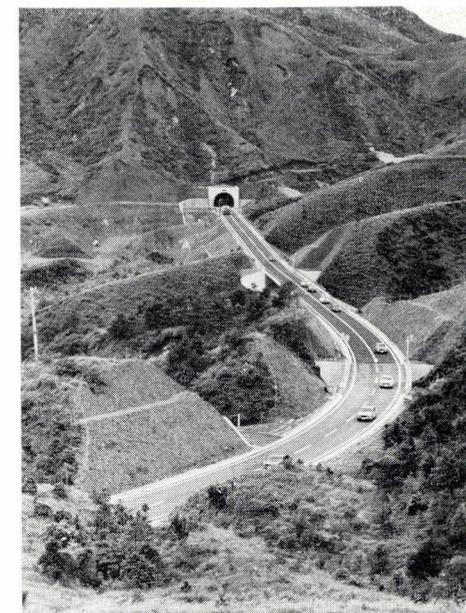
赤水線に加えて三線となり、南阿蘇の観光、畜産、林業などの発展にはかり知れない恩恵をもたらすものとして期待されています。



盛大だった南阿蘇登山有料道路完工祝賀式



ヘアピンカーブを登ると南郷谷は一望(7合目付近)



火の山トンネルを出るとやがて山上

町民センター建設が本決まり

早ければ九月にも着工

鉄筋平屋建て

中川原団地内を予定

町では、かねてみなさんから要望の強かった町民センターの建設を本年度において施工することに決めました。

白水村に老人いこいの家が完成したのをきっかけに、町内の各老人クラブから「老人が気軽に集い合おう場を建設してほしい」

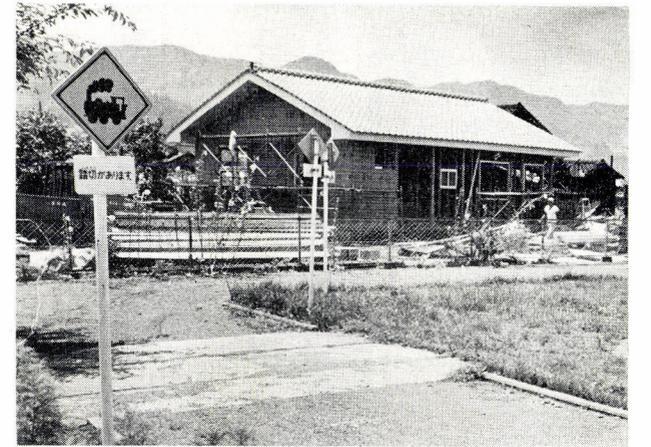
と陳情書が出されてきました。そこで町では、財源難と地理的な条件を考慮して、まず各区の集会所の整備を図り、お年寄りたちに利用してもらうことを考えてきました。が、青年団や婦人会など、ほかの団体からも福祉施設を望む声が高まったため、町民センターを建てることにしたものです。

当初は国県の補助事業に該当しないことから、二カ年継続事業として取り組む計画でしたが、国からの資金借入れの見通しが明るいため、単年度事業に切り替え、具体的な設計に入ったわけです。早ければ九月には着工の運びとなります。

町民センターは、老人、婦人、青年など全ての町民が教養の向上やレクリエーションの場として利用できる多目的な施設です。町では設計に先立って、厚生委員会を開き、先進地視察など本格的な検討を重ねてきました。これまでにまとまった構想によると、事業費は六千六百万円。敷地は、高森昭和の中川原団地の南側を予定。ここに鉄筋コンクリート平屋建て(六百七平方メートル)の近代的な施設をつくりたい。内部には日本間の老人室や会議室をはじめ、調理実習室、青年団・婦人会室、それに図書室、視聴覚室、浴室などが計画されています。また建物の裏には、運動広場としてゲートボールコート二面ができることになっています。

歯科診療所お目見え

9月から交通公園南側に



急ピッチで建設中の歯科診療所

町内に歯科診療所が一軒しかないので、不便をかこっていました。みなさんの願いが実現して、九月から交通公園の南側に、もう一軒の歯科診療所がお目見えします。

町には、白水村中松の片山歯科医師が上町で診療所を開設していますが、隣接町村に歯科診療所がないこともあって、患者があふれ、大半の患者は大津町、あるいは熊本市などへ通わざるを得ない現状です。通院すれば一日がかりで交通費も高くなり、みなさん



細井 医師

の中からは「なんとかかしてほしい」という要望も強く出されていきました。

そこで、町では県や関係機関に出向き、歯科医師を探し回った結果、熊本市神水の歯科技術師、元田益夫さんと、同市安政町で開業している元島博信歯科医師の世話で、細井れい子医師(三)が紹介され、同医師の快諾を得ることができました。細井医師は大分県竹田市出身で、四十九年に九大歯学部を卒業された若い女医さん。このほど町と同医師との間で、診療所開設に關した覚え書き交換が終わり、九月上旬からの診療が

本決まりました。診療所は木造モルタル平屋建て九十三平方メートルで、町が七百二十万八千円をかけ建設中です。完成すれば、子供たちのムシ歯などの早期治療で大きな効果があり、町外診療の解消にもかなり役立つものと期待されます。

小型特殊の無免許追放

草部で法令講習会

「トラクターや耕運機の無免許運転をなくそう」―高森警察署草部駐在所と交通安全協会草部南・

北支部では、六月から集落センターを使い、小型特殊自動車の免許取得講習会を開いています。最近、蘇陽と本町の河原で、耕運機による交通事故死が相次いで発生したことから、同駐在所の浪邊巡查長らが地区ぐるみの無免許運転追放に乗り出したものです。講習会は毎週火曜日の午後八時から十時まで。約八十人が熱心に道路交通法と取り組んでいます。

野尻保育園に廃バス

産交から寄贈

園内施設として利用

昨年五月に開園した町立野尻保育園に、このほど九州産交高森営業所(大竹季雄所長)から廃バス一台が寄贈されました。産交に勤める地元熊谷宗幸さんら五人の有志が「廃バスを購入して同園に贈りたい」と同営業所に払い下げを申し出たところ産交側が無償譲与されたものです。バスはいままで久木野線(高森―長陽)を走っていた三十九年式の五十人乗りで、車検が来年の四月まであるりっぱなもの。

思わぬ大きなプレゼントに、園児たちは大喜び。さっそく、運転席に座って、ハンドルを回したり、ブレーキを踏んだり、すっかり運転手気取りです。贈呈式で大竹所長が「十四年も走ったお年寄りバスです。大事にいたわってください」とあいさつすると、園児たちも「ぼくたちの大好きなバスを贈っていただきありがとうございます」と元気な声でお礼を述べました。同園では「ひまわり号」と命名。園内に定置したあと、これか



らは遊覧バス、貸切りバス、定期バスなどに見立てて保育活動に役立てることにしています。写真が寄贈されたバス

管財課長に赤星氏 町職員異動

町では七月一日付けで、課長級四人の異動を発生しました。今回の異動で町民課長だった甲斐敏さん(五三)は管財係長に、後任の町民課長には経済課長だった小嶋猛さん(五三)が就任したほか、新しい管財課長には同係長だった赤星昭生さん(四七)が昇任しました。▽町民課長(経済課長) 小嶋猛▽経済課長(管財課長) 本田富雄▽経済課長(税務課長) 佐伯誠喜▽管財課長(管財係長) 赤星昭生

高森の歴史散歩

教育長 今村俊男

草部吉見の里

草部は吉見の里である。吉見神社は神武天皇第一皇子、日子八井命など十二柱を祭神とする由緒ある神社である。「日子八井命は神武天皇六十九年乙亥秋八月五日、筑紫日向高千穂の峰から当地に來たり、蛇住むという吉の池で蛇を誅され、宮居を定め、地方の開拓にあたり、建磐竜命(たけいわたつのみこと、阿蘇大明神)とともに、高千穂、阿蘇の開拓にあられた」と神話に伝わっている。阿蘇十二の宮の一宮は建磐竜命、二宮は阿蘇都比咩の命(あそつひめのみこと)草部吉見神の

神話にまつわる地名

娘、阿蘇大明神の妃)、三宮は國竜命(くにたつのみこと)すなわち日子八井命である。草部の地名については種々の説があるが、筑波大学の井上教授は草部は、もと「日下部くさかべ」で、雄略天皇の皇后の若日下部王(わかくさかべのみきみ)の部民(べみん)の置かれたところで、高千穂から阿蘇に入る重要な軍事拠点であったと述べている。部民と大化改新前の豪族集団で、「三代実録」によれば合志(かわし)郡(現在の菊池郡合志)の郡司も日下部一族で、主要幹線はすべて日下部がおさえ、阿蘇氏はこの日下部と政治的妥協を図ったものではなからうか。大化の改新になると地保郷に入ったが、「日向風土記」によれば「チ」は広さ、「穂」は万物生育するところ、また「チュウ」は高貴の人の住む地と説明している。そのためか、当地には神話にまつわる地名が多く残っている。▽草部「草壁」草を束ねて、屋根をふき壁とした。▽吉見「社吉宮床(このよきみやとこ)」と大神が唱えられたので、社

号を吉見という。豊かな好い地域▽宮原「宮居を定められた土地」▽陵(みささぎ) 吉見山、凌日子八井命の陵志津の若宮「仮の宮居」吉見の神水「神前の池水、病をなおす」▽灰原「原野を焼かれたところ」▽御釜「阿蘇都比咩命を生まれて産水をとられたところ」▽菅の迫「すすぎの迫、すすぎの水をとられた道筋

▽千の窪「御衣を干されたところ」▽掛千原「御衣をかけ干されたところ」▽逆杉森「杉の枝を逆さにされたところ」▽芹口「セリを食べられた地」▽社会「吉見社の倉庫あったところ」▽祭場「阿蘇大明神が阿蘇都比咩命を迎えられ、天神地祇をまつられた地

▽峰の宿「阿蘇大明神夫妻が阿蘇に向う途中、宿泊された地。樹齢数百年の杉木立ちの中に下りの宮、祭りの御幸場は「青はぜ」原野で刈り取った青茅を編んで屋根、壁をつくることで草部の地名もここからできた。ともあれ、村人たちの氏神信仰に支えられた吉見神社は豊饒な村の土地とともに、吉見の里にふさわしく歴史の年輪を加えていくであろう。

郷土の博物誌

⑪

真夏の太陽が照りつける草丘のかたはたは、白い積乱雲がムクムクと湧き上がり、ひととき風が止まった。深い草野の中に分け入ると、むんむんする草いきれが立ち込め、汗が音をたてて吹き出るような暑さだった。しかし、恋人に会いに行くときのように心が弾み、足は力強く前に出る。「あった！ やっぱ君はここにいたんだね」私はやっとヤツシロソウの群生している丘の斜面にたどりついた。この紫の清しい花に会うと、疲れも汗も



忘れ、思わず顔がほころんでくる。この花も前に紹介したハナシロソウやツクシマツモトとともに、全国の中でもこの高森町周辺にしか咲いたことである。植物学者や植物に関心をもつ人にとっては幻の花的存在であり、人事院の佐藤達夫氏なども、野に咲き乱れたこの花を一度見たいと、わざわざ高森まで來られたそうである。しかし、そんなことは何もない野尻の人たちは、お盆前の墓掃除のときには、この花を摘んで竹のカップにさしてお供えしたものである。もし植物学者の先生たちが、この状況を見られたら、きっと肝をつぶし、野尻の仏様をさぞかしうらやまれることだろう。私たちは恵まれたこの自然環境を皆さんとともに、いつまでも守りつづけてゆきたいものだ。(キキョウ科)

町文化財保護委員 佐藤 武之

草部診療所の現状をみる

「文化がすすめば病気がふえる」といわれるように、近ごろの病院や、少しはやる診療所をのぞくと、ため息が出るほど待合室は患者でいっぱいです。しかし、草部にある町立診療所はどうでしょうか。医師が常駐でないだけに、いろいろな問題が山積しているのが現状です。そこで、今月は集落センターに移った草部診療所をレポートしました。

七月十三日、火曜日。午後二時の草部診療所には、小学生、お年寄りなど十人ほどが医師の到着を待っていました。もともと草部診療所は毎月第二、第三、第四木曜日が診療日なのですが、担当医師の所用で、この日の診療となつたわけです。



甲斐さん

草部診療所の常連だといえます。最近は何れも腰痛で訴えています。た。甲斐さんといつしよにやってきました。た同部落の佐伯ツギさん(四三)も高血圧症。高森で治療を続けていますが、この日は町の成人病検診を受けた

ずらり高血圧患者

少ない 若い人は「ソッポ」

際、保健婦に「血圧が高い」といわれ、駆け込んだということがあります。昭和三十三年に始まった町立草部診療所は、担当医師の異動などで後任医師がいなく一時閉鎖となり、その後、町医師会や関係機関

歳以上の人も老人病検診を行われ、住民の健康管理にあたっています。さらに治療などの負担を考慮して、国にさきがけ、四十六年四月から七十五歳以上の国保医療費の全額給付を開始しました。ところで、昨年一年間に草部診



集落センターにある草部診療所

車もずいぶん普及しました。そんな青、壮年層の人たちは、高森や熊本の病院にかかると、診療所はもっぱら老人と赤ちゃん専門です。診療のあい間をみて、担当医師の本田先生がこう話されました。昨年一年間に草部診療所を訪れた地域の人は百八十人。延べ三十四回。実際に全体のうち八十割の百四十四人が五十歳以上の人でした。



阿南さん

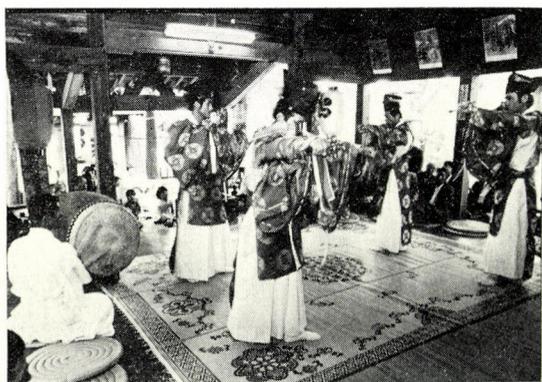
最後に「孫の具合が悪いので」診療所を訪れた社会の阿南今朝子さん(五三)は、子供の容体を心配しながら次のように語りました。療所で国保を利用した診療件数は百一件、医療総額は四十二万三千円でした。これは町の総受診件数の中では〇・四割、総医療費では〇・一割と、ほんの微々たる数字です。診療日誌の中に見られる「役者そろうて患者なし」の状態が実感として伝わってきます。この辺にも診療所運営の難かしさがうかがえます。「へき地といっても、近ごろは非常に便利になりました。勤め人など高森に出る人がふえて、自動

場合は困ることがあります。しかし、医師の来診日はだれもが気軽に利用できるし、近くに診療所があるというだけで、安心して生活ができます。地域の人のため、助け神さん」的な存在です」

『高森阿蘇神社神楽』が復活

40年ぶり優雅な舞い

南在部落に保存会誕生



神楽を舞う南在部落の青年たち

りや風祭りなど年に十回以上も奉納されていきましたが、昭和十二年ごろから戦争や部落の人手不足で舞い手がなく、惜しくも途絶えていました。

最近各地で伝統行事が復活する兆しが出てきたこともあって、高千穂神楽の復活を望む声が高まり、昨秋に今村教育長らが南在地区の各戸に呼びかけたところ、下田安己さん(二五)ら十二人の若者が継承を買って出ました。そこで、伝承者として町に残っていた津留伝さん(五三)と渡辺幸雄さん(六五)の二人を講師に、同地区で保存会(岩下政秀会長)を結成、夜八時から地区公民館で本腰を入れた練習が続けられました。

四十年余りも途絶えていた高森阿蘇神社(岩下八束宮司)の神楽(かぐら)が南在部落の青年たちの手で復活、このほど同神社で盛大な復活奉納披露がありました。同神社の神楽は百五十年前の文化、文政時代から伝えられている郡内で、ただ一つの高千穂神楽で、優雅、端正なのが特徴です。夏祭

た。そこで、伝承者として町に残っていた津留伝さん(五三)と渡辺幸雄さん(六五)の二人を講師に、同地区で保存会(岩下政秀会長)を結成、夜八時から地区公民館で本腰を入れた練習が続けられました。保存会では各戸の寄付で鳥(ス)帽子、仮衣、鈴などを購入、婦人も神楽に使う衣装など手分けし

て作り上げ、地区ぐるみで伝統の神楽が復活しました。奉納式では、若者が真新しい装束に身をただし、交代で「鎮事」「杉登り」「神おろし」の三座を奉納。指導にあたった渡辺さんは「史料もなく、津留さんと古い記憶をたどって舞いを再現しました。まだ「剣舞い」「道切り」など三十座が残っており、今のうちに伝承しておきたい」と語っていました。

町では、近くこの神楽を町の無形文化財に指定することになっています。NHKでは夏山シーズンを迎え、ことしも七月一日から八月末日までの二か月間、登山者に山の天気予報を知らせ、遭難防止を呼びかけています。九州では次の山の天気を月々金(総合TV)午後六時四十分、土、日(総合TV)午後六時五十分で放送しています。〇霧島(福岡)〇阿蘇(福岡、大分、熊本)〇九重山(福岡、大分、熊本)

NHKT Vで山の天気予報

7月~8月

過労居眠り運転目立つ

夏の交通事故防止にご協力を

出発前に十分な休憩

＜飲酒運転の追放＞

海水浴などから帰る途中の酒酔い運転があとを断ちません。酔い運転は車を「走る凶器」に変え、重大事故を誘発して悲劇を生んでいます。車を運転するときは「絶対に酒を飲まない」という強い意識とともに、家族、同僚など周囲の人も協力して、飲酒運転をなくしましょう。

＜スピードは控えめに＞

涼しさや解放感を求めて、スピードの出し過ぎや、乱暴なスリル運転をする暴走族が多くなります。交通规则を守り、安全運転に努めましょう。

＜ご家族のみなさんへ＞

子供さんは、広場や公園など安全な場所で遊ばせましょう。〇幼児のひとり歩き、ひとり遊びはさせないようにしましょう。

〇連続して走るときは、少なくとも二時間に一回は休憩する。〇居眠り運転を防ぐために、出発前には十分な休憩をとっておく。〇疲れや眠気を感じたときは、運動を止めてひと休みとす



サマーライズ

ナイターソフトボール大会で「サムライズ」が初優勝



七月六日、町ソフトボール協会長杯争奪ナイターソフトボール大会には二十九チームが参加。決勝戦では、役場「サムライズ」が高森電電を7-5で下し、初優勝を遂げました。

七月六日午前十時半ごろ、高森昭和の宇藤幸喜さんのみす工場から出火、木造平屋建ての同工場(百二十平方尺)を全焼したほか倉庫(二十八平方尺)も半焼して二十五分後に消えました。

昭和でみす工場と倉庫焼く



>2<

先月号で「同和問題は、ひとり差別を受けている同和地区住民のみならず、全国民の課題だ」と述べました。どうして全国民的な課題なのか。また、なぜ今日までも差別が残されているのか。部落差別の歴史をかえり見ながら説明しましょう。

部落差別のはじまり

昨年、郡の中学校部会で同和意識調査をした際、「同和地区はどうしてできたと思いますか」という問いに対して、「人種や血筋の違う人だ」と答えた人が、全体の七十割もあり、びっくりしました。

古沢元氏翁の胸像建立

尾下地区 永年の議員活動たたえ



完成した胸像と古沢さん

長年、議会一筋に地域の発展に功績を残された元町議会議員、古沢元氏翁(七〇)の頌(しょう)徳胸像が、尾下片山の自宅前に建ち、六月二十七日、来賓の瀬井助役・峯幸さん(三三)と孫にあたる英一さん(二〇)いづれも熊本市在住が像にかけあつた白幕をはずすと、高さ九十センチ、幅五十センチの上半身の銅像があらわれました。

これは同翁の人徳を慕つた尾下地区の人たち八十人が胸像建立期成会(首藤勝久会長)をつくり、各戸に呼びかけ浄財を集め建立したものです。

古沢翁は「私にとって思いがけなかったことで、感銘もひとしおです。みなさんのご芳情にお礼申し上げます」と語っておられました。

榎木野さん宅で養蚕の奉仕作業

4HC上色見支部

高森町4日クラブ上色見支部(三十人)では、さきに交通事故で亡くなられた榎木野徳満さん宅の

が部落差別の出発点になっていくわけだ。しかし、こうした誤りをなくすために、はっきり最初に知ってもらわなければならないことは「部落の人々は異人種でも、朝鮮や中国の帰化人が差別される人種ではない」ということだ。

たという事実はありません。むしろ、これらの人は大陸の優れた文化を日本に伝えた人としてかえって尊敬されてきました。事実、聖徳太子や蘇我氏の血脈の中には、朝鮮民族の血が流れていますし、桓武天皇の母になる人も、朝鮮帰化人の娘です。

4HCクラブの若者が作業に入っていました。とても手が回らないとあきらめていただけに、涙が出るほどうれしい思いでした」と、若者の友情に感謝していました。

若妻学級が開講

南在など三地区で

「次代の担い手としてよりよい農業生活の知識、技術を学ぼう」と、町の農協婦人部、地域婦人会などが主催する若妻学級が、こ



南在で開かれた若妻学級

鍋の平で第6回「働く若人のつどい」

第六回「働く若人の集い」が7月17日午後から根子岳のふもと鍋の平キャンプ村で行われ、参加した町内の若人約50人は宝さがしソフトボールに興じ、涼しい草原に1泊2日のキャンプ生活を楽しみました。



交通事故と犯罪をなくす運動推進大会ひらく

七月十八日、高森署主催の「交通事故と犯罪をなくす運動推進大会」は、県立高森高校体育館で開かれ、南阿蘇五か町村の代表七人が「郷土から事故や犯罪をなくすため家庭、学校、職場ぐるみの運動を盛り上げよう」と訴えました。

